

令和7年度 第2回大阪府における部活動の地域移行に関する検討会議 議事要旨

日 時：令和7年10月3日（金）14時30分～16時30分

場 所：エディオンアリーナ大阪（大阪府立体育会館）第4会議室

議 事

（1）国概算要求内容に基づく府の支援の方向性について

- ・配布資料をもとに説明。

○ スポーツ庁・文化庁 令和8年度概算要求（部活動改革関連）（資料1）

○ 大阪府 令和8年度の方向性（資料2）

《意見》

（委員）

- ・ 資料2の2頁に令和8年度以降に府方針の改訂とあり、地域展開の内容や受益者負担の目安が令和7年8月に国から提示される予定と記載があるが、未だに出てないということは、今年度は提示されない認識でよろしいか。

（事務局）

- ・ 現在、国において検討がなされている状況で、最終的には令和7年の冬頃に国の総合的なガイドラインに盛り込んで示すと聞いており、今年度中には何らかのアクションがあるのでと考えている。

//////////

（委員）

- ・ 検討会議の資料は市町村に伝達されるのか。今後のスケジュールはどのように考えているのか。

（事務局）

- ・ 検討会議後、情報提供することを予定している。

（委員）

- ・ 都市教育長協議会の立ち位置で申し上げると、各市町村の教育長が部活動については問題意識を持っており、それぞれ規模が違うので、意見交換をしている。今日話された、国の動きや流れを市教育長協議会でお話ししていただけないか。

（事務局）

- ・ 都市教育長協議会事務局に相談させていただく。

//////////

（委員）

- ・ 資料2の2頁の地域クラブ活動の定義や要件がまだ決まっていなくて、今後、国が検討していくと言っているが、来年度地域展開していく中で、運営主体をどう管理していくか、府として運営主体をどう認定していくか、法人格をどうしていくか、責任主体をどうするのか、お金の管理をどうするのか、一般社団法人にしていくのかを検討していかないと、問題が起った時に対処ができないくなるうえ、管理運営がバラバラになって何もできなくなると感じた。

(委員)

- ・ ガイドラインが示されないと考えられない。地域クラブ活動が現状の部活動の意義を継承しつつ発展させ、新たな価値の創出を行っていきたいところ。

(2) 令和7年度における取組みの進捗状況等について

○ 国委託事業の活用事例等に係る資料（資料3）

《大阪狭山市の事例発表への質疑応答》

(委員)

- ・ 平日のサッカーチームの活動時間はどのくらいなのか。
→平日 16時から最大 18時前まで活動している。冬場は 17時半ごろまでとしている。
- ・ 地域クラブは 19時からでないと学校施設が使えない市があり、ナイター設備がないので、夜間の地域クラブ活動で何ができるかが課題となっている。大阪狭山市はいかがか。
→大阪狭山市もナイター設備がないので、グランド種目の割り当てをどうしていくのかも課題である。
- ・ 体育館のエアコンの使用料は地域クラブから徴収しているか。エアコンの使用料を徴収している市もあると聞いていて、市町村によって足並みがそろっていないのが現状である。
→現在は地域クラブに使用料は求めていない。備品等も含めて今後の財源をどうするか検討していきたい。

//////////

(委員)

- ・ 地域クラブ活動に参加する生徒の移動手段はどうしているのか。
→平日の地域クラブ活動がある日に自転車通学している。

//////////

(委員)

- ・ 部活動の成果を発表する場が必要になるが、試合の参加はどういう形になっているか。
→卓球部は各学校で出場しているが、サッカーは合同チームで出場している。
- ・ 委託しているが中体連の試合に参加しているのか。
→4月からの活動なので、登録は中学校名でしているが、指導者は教員ではない。練習については、少しずつ学校から切り離そうとしている。

//////////

(委員)

- ・ 地域展開が進む中、試合運営をどうするのか疑問に思う。大会運営やトラブル対応などは全て中学校の教員だが、今後は大会運営も含めて民間事業者へ委託するのか。
→大阪狭山市では、休日のみ地域移行するのではなく、休日も平日も一緒に地域移行してほしいという校長の意見がある。最終的なゴールイメージは、課業時間が終了すれば学校教育は終わりで、その後の地域の活動は生徒が自由に選択して参加する。学校施設を使用する場合は保険加入や研修受講しているか等確認し、登録団体として認定していく、学校と切り離していきたい。中体連の運営をどうしていくか大阪狭山市ではまだ答えがない。令和9年秋以降、学校のクラブは原則無くなるイメージ。

//////////

(委員)

- ・ 土日の試合に教員が関われなくなると、中体連の運営がしんどくなる。部活動の意義が薄れ、勝ち負けだけになっていくのではないかと危惧している。長年大会運営を担ってきた中体連のノウハウを生かしながら、民間企業ともうまくやっていくことも視野に入れて考えていきたい。
→大阪狭山市では、国から当初に示された方向性を基に本事業を進めている。受益者負担をいつ示されるのか分からぬまま模索して、どうしていくか考えなければならない。議会に答弁し、保護者に説明を行い、後に引けない中でやっている。もっと国や府がメッセージを出してほしいという願いがある。学校部活動の意義や成果を感じてきた世代に方向性を問われることがあり、なかなか自治会からの理解が得られない中で何度も話をして、ようやく動き始めたところ。市町村によって進捗にバラつきがあるので、一定の方向性を示してほしい。

《泉大津市の事例説明への質疑応答》

(委員)

- ・ もともと合同クラブで活動していた土曜日を地域クラブ活動に代えたのか。
→吹奏楽団としては土曜日だけの指導となる。平日は合同部活動で活動している。
- ・ 地域クラブ活動の移動手段は自転車なのか。
→朝の登校時に自転車で通学して放課後に自転車で活動場所に行く。
- ・ 今後、毎日地域クラブ活動を行うイメージだが、吹奏楽団は指導者派遣ができるという状況なのか。
→そこは今後の課題となっているが、仕事を終えて時間に余裕がある楽団員も増えている。吹奏楽団として何ができるかの調整が必要。

//////////

(委員)

- ・ 市と吹奏楽団との間で委託契約をしているが、それは運営主体として契約しているのか。
→土曜日の地域クラブ活動は委託契約として行っている。
- ・ 指導者を派遣して委託しているだけなのか。
→指導的な面はそうだが、休日の引率も吹奏楽団のメンバーで行っている。

//////////

(委員)

- ・ どういう形でコンクールに出場しているのか。コンクールに92名全員出ることができるのか。
→吹奏楽コンクールは規定により50名が上限なので、出られない生徒もいる。可能な限り、依頼演奏や地域演奏を増やすなどして、生徒の活動を確保することを意識している。

//////////

(委員)

- ・ ダンス部、バドミントン部の地域クラブ活動は土曜だけか。
→土曜日だけ活動している。総合型地域スポーツクラブで地域クラブ活動を行っており、学校での活動はない。

//////////

(委員)

- ・ 地域クラブ活動の活動場所はどこか。
→泉大津市の総合体育館で活動している。
- ・ 学校で地域クラブ活動を紹介する場はあるのか。
→学校のクラブ紹介で地域クラブのメンバーが紹介している。動画でも紹介している。
- ・ 小学校の手紙等にも地域クラブ活動の掲載しているのか。
→掲載している。

《大阪府部活動改革プラットフォーム、人材バンク広報活動に関する事務局説明への質疑応答》

特になし

(3) その他 全体を通して

《意見》

特になし

その他

○ 次回：令和8年1月28日（水）を予定。